### 令和7年(2025年)度 学校だより

熊本大学教育学部附属中学校

10月17日号 文責 松島孝司

# 四大行事の一つ 写生大会

10月10日は、二の丸公園周辺での写生大会でした。秋空の下、広々し た場所で、じっくり写生に取り組む。校長として、大切にしたい行事の 一つです。行事精選の昨今、写生大会を実施している学校は希だと思い ます。しかし、ゆったりじっくりと屋外で風を感じながら絵を描くこと は、生徒の感性を育むために大切な時間だと確信しています。

ただ、課題も残りました。一部の生徒ではありますが、20本程の筆洗 い用ペットボトルがそのまま放置されていたことです。他者意識や公共 性については、これまでも全校対話等で取り組んできました。ペットボ トルを放置したら、その後どうなるのか、誰が処分するのかを想像し適

切に対応でき るのも大切な 感性だと考え ています。









## 附中文化の日 合唱コンクール

10月16日の附中文化の日 合唱コンクール。多くの方に参観いただき、 ありがとうございました。

### 【附中文化の日】

本校卒業生で特撮監督の三池敏夫さまを お迎えしての講話でした(私の一学年先輩 です)。映像を交えてのお話で、好きなこ とをやり続ける力に感銘を受けました。



#### 【合唱コンクール】

合唱コンクールでは、改めて生徒諸君の素晴らしさを実感しました。 私でさえ、練習時の姿を思うと胸が熱くなるので、担任は万感の思い だったと思います。

合唱コンクールの結果は以下の通りです。

学年優秀賞:1年2組、2年1組、3年3組

グランプリ:3年3組

最優秀指揮者賞:倉本小瑚さん

おめでとうございます!

表彰式の最後に、受賞できなかったク ラスにも「校長賞」を授与しました。9月 からの1ヶ月半、朝凮夕と練習をし、トラ ブルもあったことでしょう。生徒も担任 も努力してきました。

これまでの取組にこそ価値があり、生 徒諸君は一回りも二回りも成長したと肌 で感じています。これまで頑張った生徒 諸君を誇りに思います。

終盤の全員校歌合唱には、鳥肌が立ちま した。ステージ上から校歌合唱の様子を見 ていた審査員から、「校長先生、こんな学 校に勤められたら幸せでしょうね。」との お言葉をいただきました。附中校長として、

牛徒諸君の成長を間近で見ることができることの喜び、そしてそのこと への感謝を実感した1日でした。





